

西山実議員・山岡光広議員・岡田重美議員が一般質問

発言順

西山実議員



◆大阪・関西万博への教育旅行第3弾  
◆有機フッ素化合物の検査第3弾◆酪農の危機への対策強化◆外国籍住民との生活コミュニケーションの促進

**問** 大阪・関西万博の会場は、メタンガスが常に発生し、風水害リスクが高く、災害時に孤立する可能性がある。今後5校が教育旅行を計画されており、熱中症対策、台風時期の風雨対策、救護体制について具体的な対策が必要ではないか。

**教育長** 暑さ指数により、活動時間の短縮や変更、暴風警報の場合は中止するなど、子どもたちが安全に活動できるように臨機応変に対応する。

**問** わずかな量でも人体に悪影響を与える指摘されている有機フッ素化合物「PFAS」について、県・水口浄水場の処理前の原水で最大41ng/lの検出があった。県と連携して、検査頻度を高めるなど、汚染源の特定と対策が必要。

**市民環境部長** その後の調査では5ng/lで指針値を下回っており、今後のモニタリング調査で50ng/lを超えた場合には、汚染範囲の把握や原因の特定、被害防止の対策が取られる。

**問** 外国人に対するのコミュニケーションツール、甲賀市で暮らすための生活オリエンテーションが必要ではないか。

**総合政策部長** ゴミの出し方やケガ、病気の対処方法、交通ルール、災害時の対応等を多言語化した「生活ガイドブック」を作成して、転入手続き時に配布する。

山岡光広議員



◆身寄りのない人への支援第2弾◆「住宅要配慮者」と居住支援◆リチウムイオン電池を市町村が回収◆甲南第二小学校区に独立した学童保育所を◆ミソジニー三重県議に対する誹謗中傷メール

**問** 警察庁が「2024年に自宅で死亡した一人暮らし人の約77%が65歳以上高齢者であった」と発表した。対策として、生前中に如何にして地域とのつながりをもつかが問われている。そのため老人クラブと連携してエンディングノートを無償配布する等の取り組みをしてはどうか。

**市長** 現在市内13カ所でエンディングノートを置いている。昨年度は413部普及した。議員提案にあった方法も有効な策であると認識している。

**問** 甲南第二小学校の児童42名が3キロ離れた学童保育所に通所している。校区内に独立した学童保育所が必要。

**こども政策部長** 地元の公民館での借用について相談中。令和9年度から開設。置いてほしい」とXに投稿した三重県議に誹謗中傷・殺人予告メールが八千件も。重大な犯罪行為であり、ミソジニーではないか。

**市長** いかなる理由であっても断じて許されるべきものではない。権利や尊厳を守るため社会に対して声を上げる行為に、嫌悪感を抱いたり、蔑視する、不当な偏見や差別意識をもって言論を封じ込めようとする行為は、ジェンダー平等の実現を阻害する大きな要因になっている。

岡田重美議員



◆物価高騰から市民の暮らしを守る対策◆全世帯に「防災リュック」の配布を◆投票区域再編計画(案)◆コミバス・コミタクを使いやすく◆南土土地先の安定型産業廃棄物最終処分場建設計画

**問** 日本共産党甲賀市委員会が実施した要求対話アンケートでは、物価高騰対策として6割以上が消費税減税を望んでいる。国に消費税5%減税を求めざるべき。また、低所得者、中小事業者、医療・福祉施設等に対し、市独自の支援策を。

**市長** 消費税の役割、経済情勢等を勘案し国において適切に対応すべき。市独自の対策としては、国の動向を注視し必要な対策の検討に努める。

**問** 投票区域再編計画案のアプリックコメントではどのような意見があったか。

**選管事務局長** 27件寄せられ、多くが「投票所が遠くなり投票したくてもできない」「投票率が下がることは明らか」といった意見であった。

**問** 党のアンケートでも4割が現状維持を回答している。大幅削減は市民の投票権を奪うもの、再度検討すべき。

**選管委員長** 持続可能な投票所運営をめざし、再編を予定通り進めたい。

**問** 土山の産廃処分場計画では、県外からのゴミが8割以上持ち込まれる計画であり住民の不安は大きい。県外からの持ち込みに対し規制する条例化の検討を。

**市長** 条例化は現時点では困難な状況だが、引き続き市民の声を事業者に向け、県にも徹底した審査を求めていく。



改修された水口城跡の御成橋

**山岡** 西山さん。水口城跡の御成橋。立派に改修されましたね。雨の中一緒に竣工式に……。  
**西山** 私が市議になって初めての質問がこの改修でしたから実現して感慨ひとしおです。

**山岡** 地域の要求を取り上げるといふ点では、政府交渉も大事です。国や県との連携も大事です。

**岡田** はい。土山の産廃問題でも、国会議員、県議会議員と一緒に現地調査と懇談会を行い、それをもとにそれぞれ議会できりあげた。私も産廃問題は三回。繰り返しの要求で防霜ファン更新に対する補助に道を開いたことも大きな成果ですね。

**西山** 市内の95カ所の投票所を49カ所に削減するという計画。政府交渉で総務省は「3キロ三千人を基準に削減せよ」と言っていない」と明確に見解を示しているのに、甲賀市選管は強引に削減しようとしていることは非常に問題ですね。

**岡田** はい。議会で六度この問題を取り上げました。パブコメでも多くの意見が寄せられました。選挙制度は民主主義の基本です。削減は重大な問題です。